

0. 報告日：2012年 8月 18日（金）		
1.参加期間と場所：2012年7月30日（月）～8月4日（土）、大韓民国・釜山大学		
2.申請者と所属チーム		
資料作成者	（所属、学年） 大分大学大学院工学研究科 建設工学専攻博士前期課程1年 （氏名） 畑中 信二	所属チーム （所属チーム名称） C1_JO5 （構成員氏名、大学、学年） Shinji HATANAKA、大分大学、M1 Naoki AOYAGI、大分大学、M1 Kazuki MIYOSHI、九州大学、M1
3.感想と今後の抱負		
<p>今回のワークショップは短期間で一つの作品を作るということで、時間配分が最も大変であった。時間の足りない中でどの部分を強調すれば、より見ている人に自分たちの主張が伝わるか、という点に重点を置き作業を進めた。また、言語についてはグループ内では日本の学生同士なので意思の疎通に支障はなかったが、スタジオについての教授とのディスカッションでは理解できない部分、伝えられない部分が多くあり悔しい思いをした。英語力のなさは中間発表のプレゼンテーションでも問題となり、思ったようなプレゼンテーションができずに英語力の向上が必要であることを痛感させられた。しかし、完成した作品は自分たちの表現したいことをよく表現できており、内容もデザインもわかりやすいものになったのではないだろうか。今後の抱負としては、英語力の向上またそれに伴うプレゼンテーション能力の向上が必要であると感じた。海外の学生との会話も口語による簡単な日常会話やディスカッションにはあまり不便さを感じず楽しく会話することができたが、少し難しい文章での会話や専門的な会話の話になると、うまく表現できず会話に時間がかかってしまい、少しもったいない時間を過ごしてしまうことも多くあった。英語力の向上は会話ができるようになるだけでなく、より多く海外の人と意見を交換するために、また自分の意見を正確に相手に伝えるためにも必要であると感じた。さらに英語力の向上により、プレゼンテーションの際に自信をもって自分の意見を表現することができるようになることは、プレゼンの幅を拡げることにつながるのではないだろうか。今後は国際人としての自覚をもち、言語に関係なくより多くの人と会話をしていきたい。</p>		
4. 提案作品		
タイトル	<b>In to the valley</b>	概要 対象敷地のミルキーバレーは、豊かな自然が保全されているが、その中に人々が入ることは少ない。そこで私たちは現在橋が存在する場所にフォリーを作ることで、人々の流れを敷地内に広げる計画を行う。また Tao という概念を自然と調和することと考える。手法は、二枚のスラブを陰と陽と定義し、切り込みを入れ、双方を交合わせる。結果、新たな空間を創出し、自然を感じながら様々な行為が生まれる場所となる。

5. 提案作品のパネル

In to the valley

2012 East Asian Architecture & Urban Design Workshop  
 Group-C1

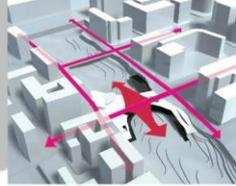
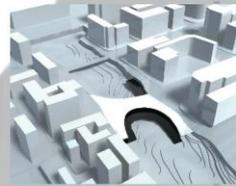
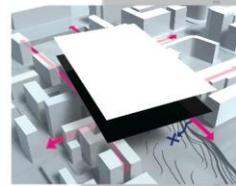
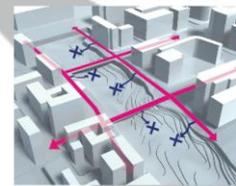
1.Site Analysis & Problem

About surround of PNU

Mountain  
 PNU  
 boundary  
 Urban area  
 PNU is part of mountain retain many nature  
 PNU is part of urban area many citizen come  
 About surround of Mirinae Valley  
 Look  
 view line of outside  
 many people pass along Mirinae Valley and cross the bridge. So, they often look at there.  
 view line of inside  
 opportunity of entry is almost nothing and thing that look Mirinae Valley from the interior of there.  
 Now, there are many nature But people cannot feel nature enough

Now  
 if people move  
 Guard of library use  
 There is the people's tendency  
 without cross bridge  
 There is the people's tendency  
 after our plan  
 Call of library use  
 protect nature  
 have people stay  
 Call of library use  
 Call of library use  
 our plan's site is this area

4. Form's control



2. Concept

東道 = eastern spirit  
 Tea room, Pavilion → harmonize with nature  
 Eastern spirit means harmonize with nature.  
 西器 = folly  
 The meaning of folly is stable in west  
 ⇒ The meaning will be indeterminable

we create the place of recreation and relaxation where people can come into contact with nature freely.

Nature  
 relax  
 read books  
 talk  
 play  
 appear various action in rich nature

3. Design concept

Design by Taoism ... use two slabs  
 the two mind harmonizes!  
 Yang  
 Yin  
 Not exist single Best is combine

Yang slab	talk	walk	play
Yin slab	rest	read book	nature

combine

Yang slab	walk	play	nature
Yin slab	talk	rest	read book

5. Perspective

whole

scene 1

scene 2